

一般廃棄物の現況と推移(令和6年度実績)

1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 令和6年度の県内のごみの総排出量は740千トンで、県民1人1日当たりの排出量は912g/人日でした。
- 総排出量及び1人1日当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響で大きく増加したものの、その後は減少傾向が続き、高い水準ながらも目標値に大きく近づいています。

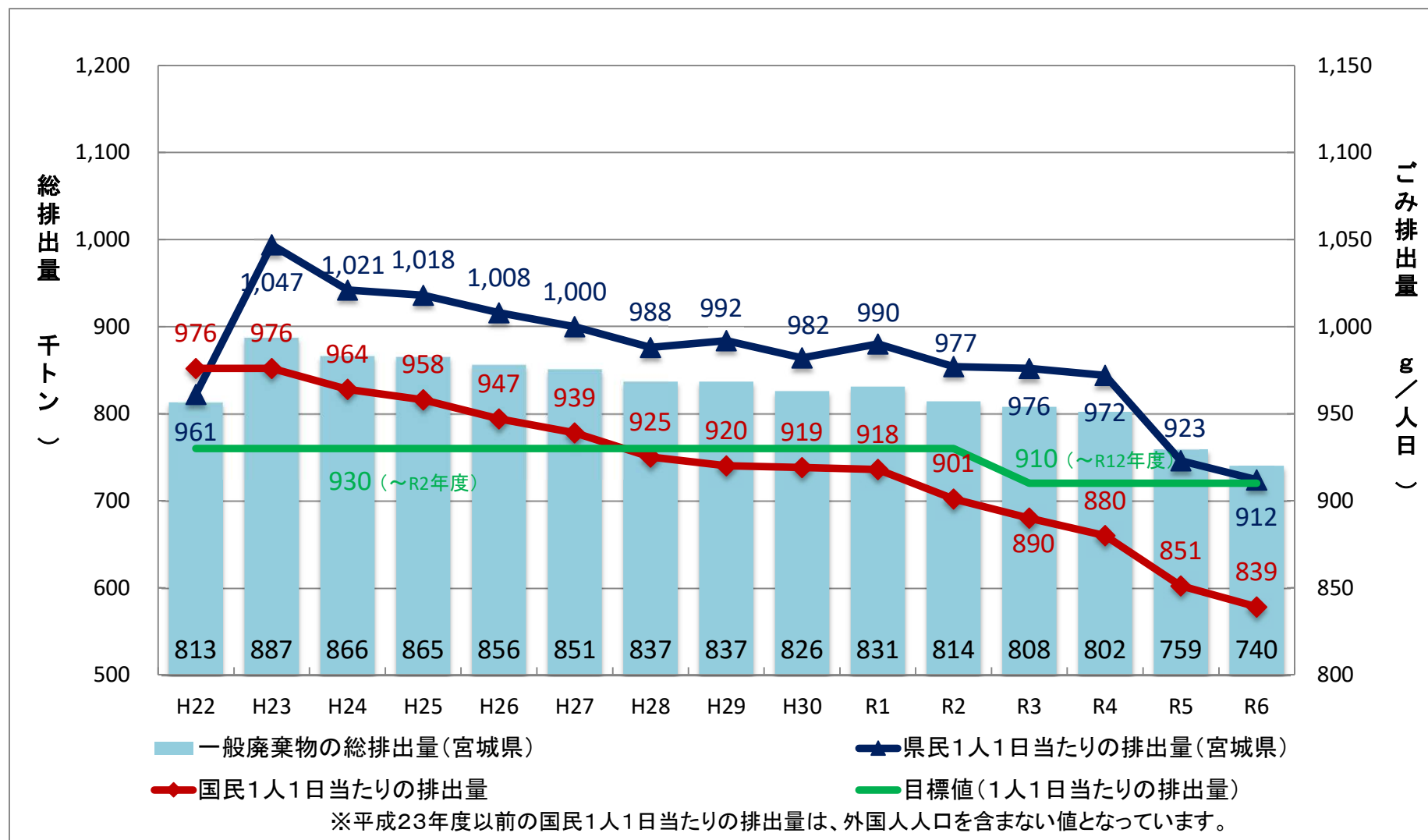


図1-1 ごみの総排出量の推移

○ 令和6年度の県民1人1日当たりの排出量は、生活系が634g/人日、事業系が278g/人日と横ばいでした。

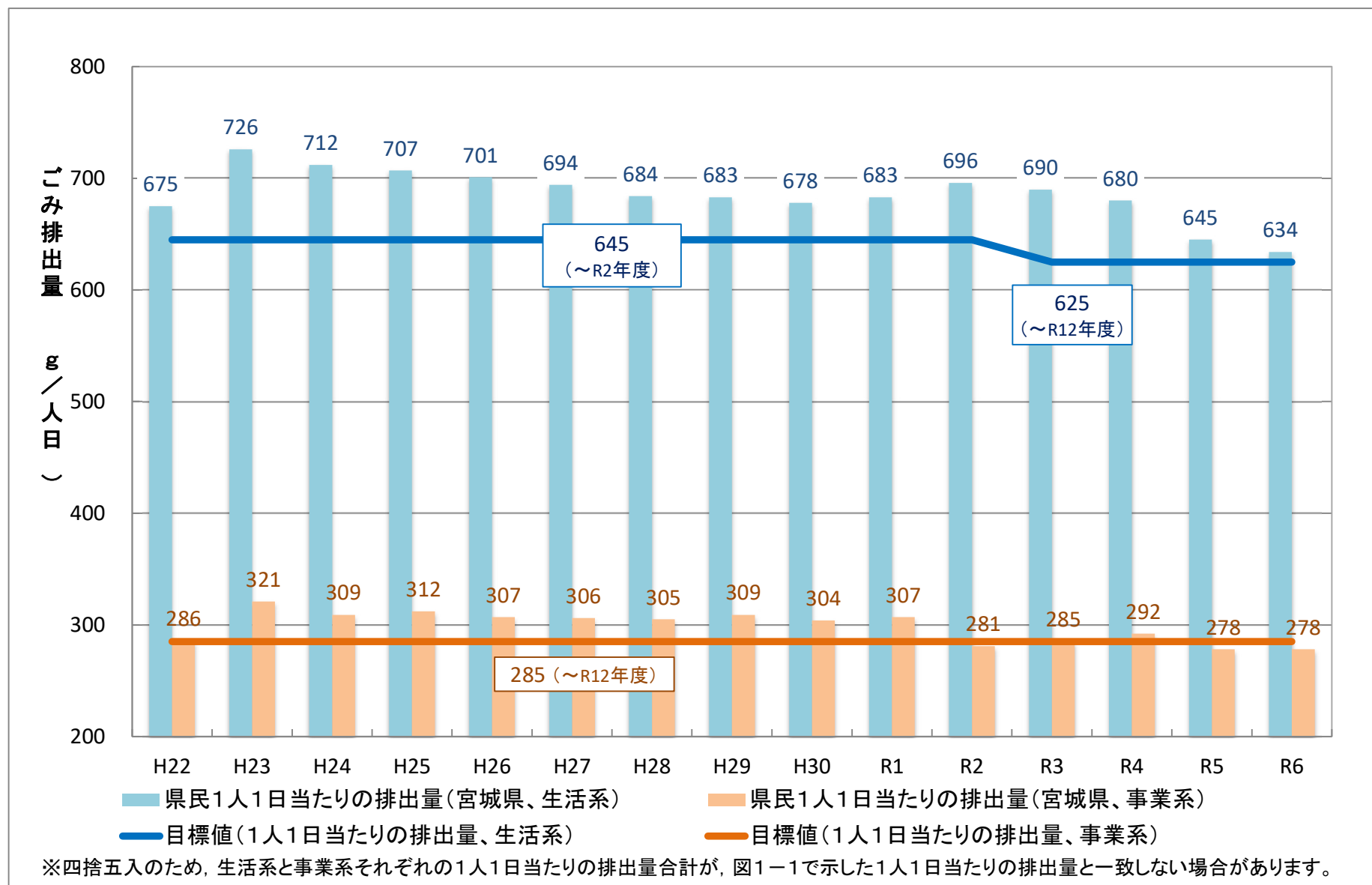


図1-2 1人1日当たりの排出量の推移

2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

- 令和6年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は113千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（79千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、23.4%でした。

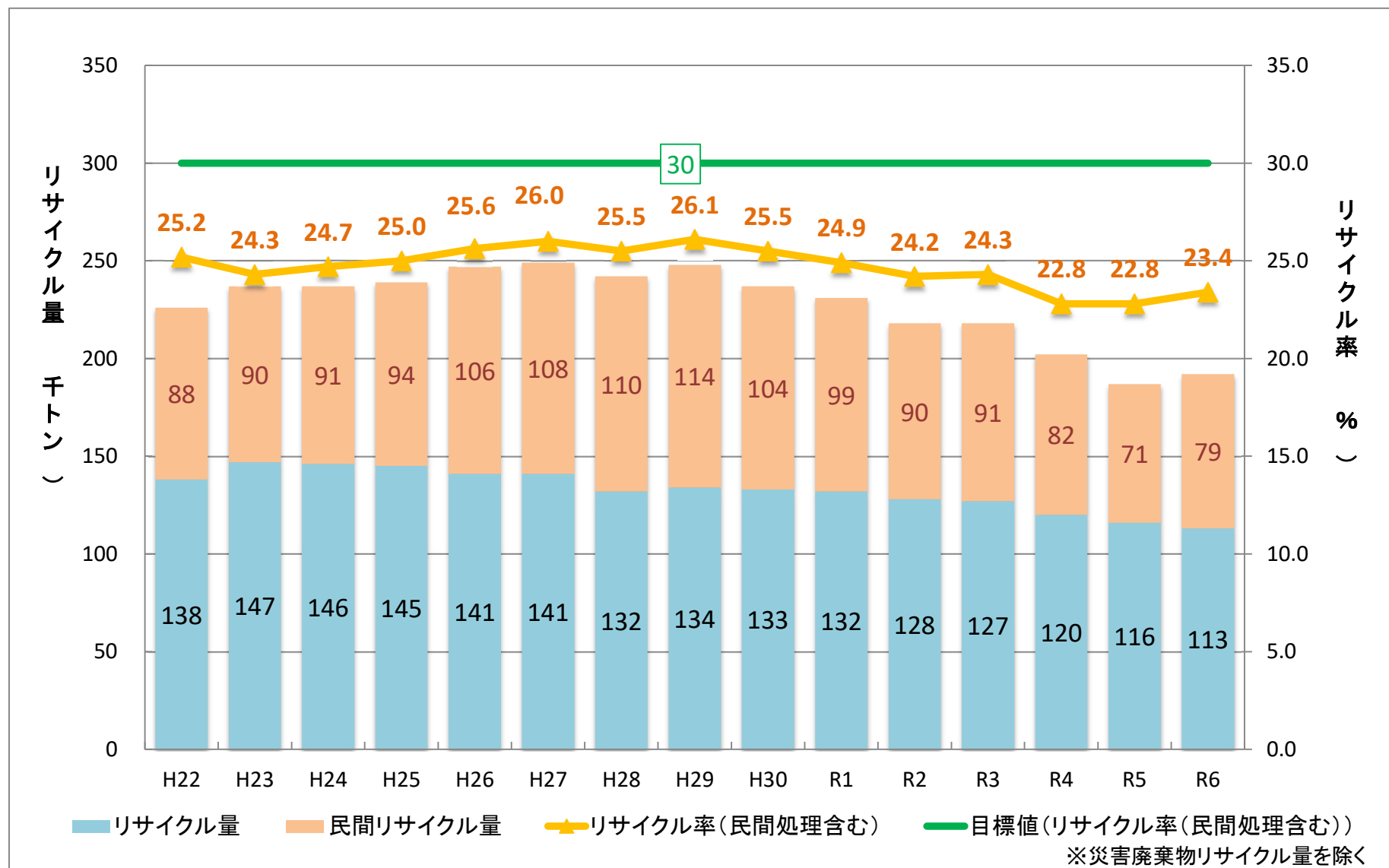


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除くリサイクル量は113千トン、リサイクル率は15.2%で、昨年度と同程度です。また、リサイクル率は全国平均と比べると大きく下回っています。

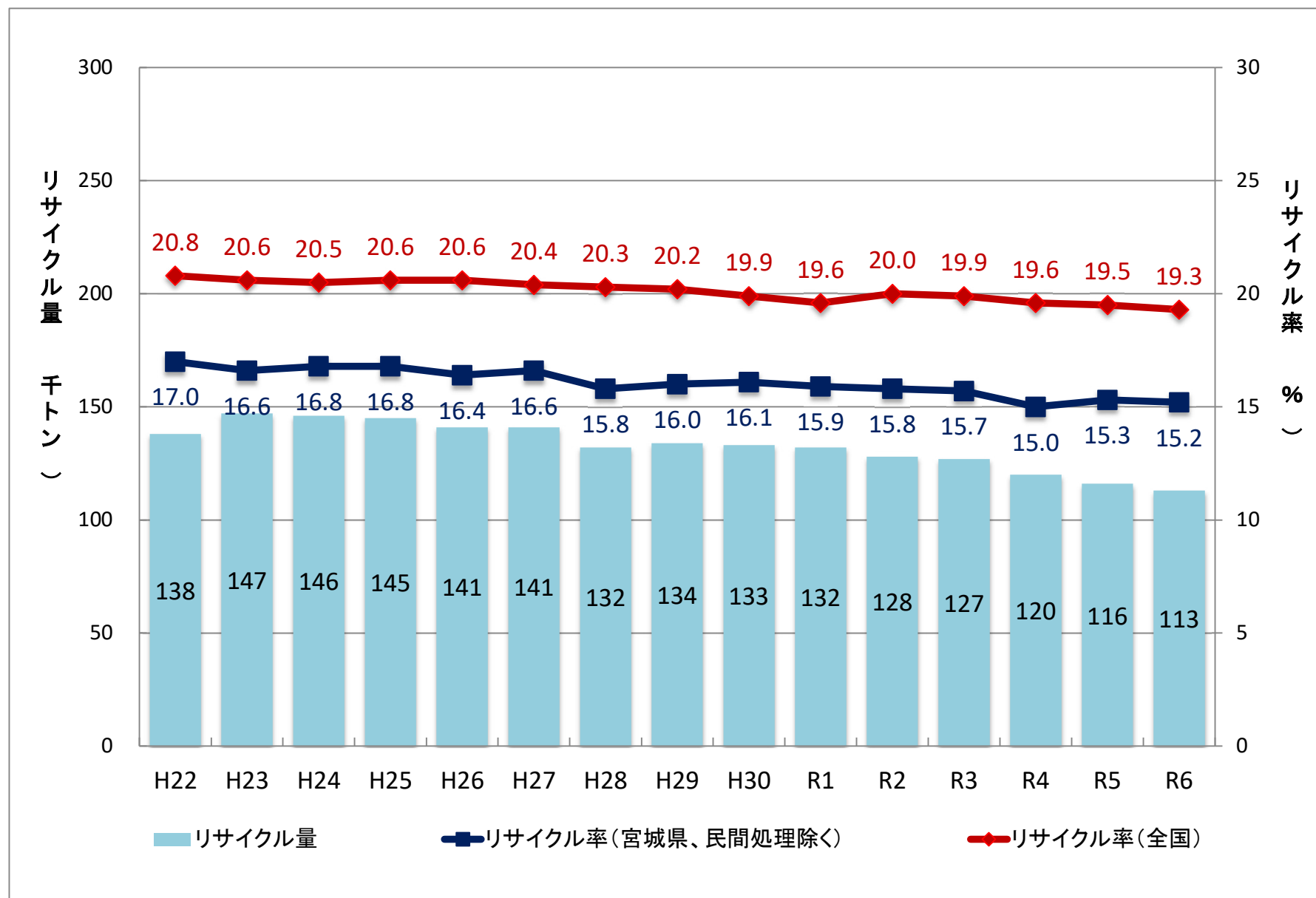


図 2-2 県と国のリサイクル率の比較

3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

- 令和6年度に埋立場へ最終処分されたごみは84千トンで、令和5年度より減少しました。最終処分率については令和5年度から横ばいで、目標は未達成です。

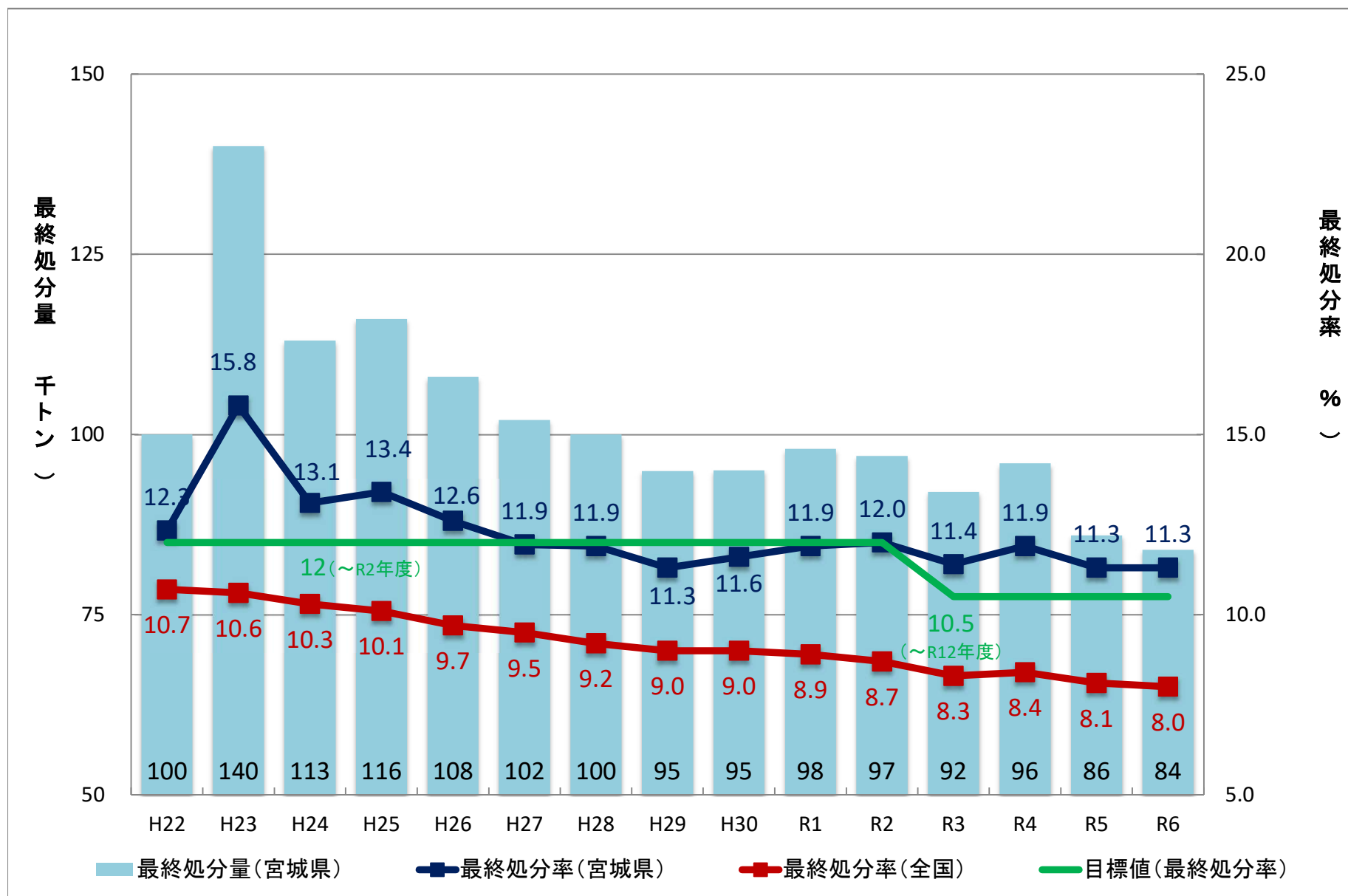


図3 最終処分量及び最終処分率の推移